研究機関で雇用する特別研究員-PD 等の育成方針

令和 5 年 7 月
群馬大学

群馬大学は、基本理念として「新しい困難な諸課題に意欲的、創造的に取り組むことができ、幅広い国際的視野を備え、かつ人間の尊厳の理念に立脚して社会で活躍できる人材を育成する」こととしています。日本学術振興会特別研究員 PD 等（PD、RPD、CPD）は、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ優れた若手研究者として研究者コミュニティに広く認知されていますが、群馬大学の基本理念が描く人物像と一致するものです。すなわち、他人に与えられた研究課題ではなく、自らが見出し設定した研究課題に果敢に挑戦し、その解決・解明のための研究計画を立て、先人達の研究成果の上にオリジナルの学術研究を遂行するとともに、国内外の研究者や課題当事者等とのコミュニケーションを通して人的ネットワークを拡大し、高い倫理意識のもと大学等研究機関を含めた社会において活躍することが期待される研究者です。

群馬大学では、このような特別研究員 PD 等の育成に積極的に寄与するため、次の方針に基づき、特別研究員 PD 等を雇用し、特別研究員 PD 等がこれまで以上に研究に専念できる環境を提供します。

① 自身の研究に専念できる環境

博士の学位取得直後にある特別研究員 PD 等が、自身の専門性を深め、オリジナリティの高い研究に専念することは、本人の能力開発とその後の研究活動の発展及び我が国の研究力向上のために極めて重要です。群馬大学は、特別研究員 PD 等が腰を据えて自身の研究に専念することが何よりも重要と考え、研究に専念できる環境を構築し、提供します。群馬大学に雇用されることによって研究以外の学内業務等の負担が増えることはありません。

② 群馬大学の研究環境を最大限に活用

群馬大学の特別研究員 PD 等は原則として他の大学/研究機関で博士の学位を取得し、研究環境の異なる群馬大学に活動拠点を移すため、群馬大学の新たな環境で研究をセットアップすることになります。その際、特別研究員 PD 等は、群馬大学に雇用されることで、群馬大学の教員と同様に群馬大学の研究環境を利用することができるようになります。所属する研究室の研究設備だけでなく、群馬大学が備える共用機器、図書館、情報システム、各種の研究支援サービス等を活用できるため、効率的に研究を遂行し、研究成果の最大化を図ることができます。

③　教育指導能力を培う機会の提供

特別研究員 PD 等がアカデミアでのキャリアアップを希望する場合、教育指導能力を培う経験も重要です。群馬大学では、特別研究員 PD 等に対し、教育指導の業務を強制することはありませんが、本人の希望に応じて教育指導能力を培う機会を提供します。

④　研究と出産・育児等の両立を支援

特別研究員 PD 等は雇用期間中に出産・育児等のライフイベントが重なることも想定されます。群馬大学には研究と出産・育児等の両立を支援する制度があり、出産・育児等によってキャリアの選択肢を狭めることがない環境を提供します。

特別研究員 PD 等の雇用に関する取り組みを通し、群馬大学は基本理念に立脚した若手研究者の育成を加速するとともに、学術研究の推進と、その研究成果がもたらす社会の発展、人類の福祉の向上に貢献します。

群馬大学が雇用する特別研究員PD等の育成方針

群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

群馬大学が描く特別研究員PD等（PD、RPD、CPD)の人物像

◇ 自らが見出した研究課題に果敢に挑戦

◇ 先人達の研究成果の上にオリジナルの学術研究を遂行

◇ 国内外の研究者や課題当事者等とコミュニケーション

◇ 高い倫理意識のもと大学を含めた社会において活躍

このような特別研究員PD等を育成するため、群馬大学は特別研究員PD等を雇用し、研究に専念できる環境を提供します

群馬大学における育成方針

①自身の研究に専念できる環境
- 自身の専門性を深め、オリジナリティの高い研究に専念することは、本人の能力開発とその後の研究活動の発展及び我が国の研究力向上のために極めて重要
- 腰を据えて自身の研究に専念することが何よりも重要

群馬大学に雇用されることで学内業務の負担が増えることはありません

②群馬大学の研究環境を最大限に活用
- 群馬大学の共用機器、図書館、情報システム、各種の研究支援サービスを活用し、新たな環境でも効率的に研究を遂行可能に

教員と同様に群馬大学の研究環境をフル活用できます

③教育指導能力を培う機会の提供
- アカデミアでのキャリアアップを希望する場合、教育指導能力を培う経験も重要

希望者には教育指導の機会を提供します

④研究と出産・育児等の両立を支援
- 出産・育児等のライフイベントによってキャリアの選択肢を狭めることがない環境を提供

出産・育児等と研究の両立を支える制度があります